

## 令和元年度に実施した主な安全対応訓練等の検証について

\*BSL4実験室内への不審者の侵入が発生したことを想定した対応訓練の検証状況（概要）

村山庁舎8号棟BSL4実験室内への不審者の侵入が発生したことを想定し以下のように対応訓練を実施した。

## 1 目的

実験室への不審者の侵入者があったことを想定し、連絡・関係者の対応についてシュミレーションし、改善点を検証する。

## 2 実施日時

令和元年11月22日（金）10:00～11:00

## 3 実施場所

国立感染症研究所村山庁舎 8号棟（BSL4実験室）

## 4 関係部署（所内）と所外訓練参加機関

国立感染症研究所

（ウイルス第一部、バイオセーフティ管理室、感染病理部、総務部業務管理課）

東大和警察署、武蔵村山市役所

## 5 訓練実施経過概要

（1）訓練協力機関への協力要請と所内参加者には訓練シナリオの確認を行った。

（2）想定事象：実験室の総合点検終了後、一時立入者用カードの偽物とすり替えたカードによる不審者侵入があり、実験室利用者が入室した際、病原体保管庫を開こうとした形跡を発見した。侵入について警備、設備および管理室担当職員は異常発見まで認知できなかった。

## ①初動対応：

- ・病原体保管庫の異常発見者から管理室および実験室責任者への連絡
- ・現場保全と他に異常がないことの確認
- ・警察署への通報および所内関係者への連絡
- ・侵入形跡等について貸し出しカード、入退記録、映像等の確認
- ・保管庫内容物に異常がないことの確認

## ②警察官の管理室への案内および状況説明

## ③関係機関（市役所等）への通報

（3）警察官からの現場保全の注意事項等の説明

（4）参加者による訓練内容についての意見収集

## 6 訓練結果

- ・想定した訓練の初動対応、関係者への連絡等ほぼ予定通りに実施できた。
- ・夜間消灯時の映像記録が不鮮明であった。
- ・警察から現場保全の注意点（行動記録のメモを取ることや、他の不審物がないかの確認など）および捜査が必要となった場合の映像や入退室記録の提供、立入禁止区域の指示があることの説明があった。

## 7 改善事項

- ・一時立入カードの登録設定を返却時に消去することや記録の徹底をする。
- ・高感度監視カメラへの更新や人感センサー付き電灯の設置を検討する（人感センサー付き電灯は令和2年度に導入予定）。
- ・時間外入退室の記録や、敷地内不審者のチェックを徹底する。
- ・現行カードシステムでは登録者以外の者の不正使用で侵入される可能性があるため、生体認証システムの導入を検討する（令和2年度に導入予定）。